

第69回 卒業証書授与式



冬の寒さも和らぎ昨日の雨が嘘のように晴れた三月三日、令和元年度第六十九回卒業式が厳かに挙行された。今回の卒業式は新型コロナウイルスの影響で中止も検討されたが、保護者参列なしで教員と生徒だけで卒業式を行うこととなった。式はプログラムを変更し縮小しての実施だった。

が、次第通りに粛々と進んだ。卒業生三〇一名の呼名が終わると、校長先生より「皆さんがこれから生きていくうえで大事なことは持ちつ持たれつ、人とお互い支えあうことだ。卒業後は自身が何かをしてもらうだけではなく、何をしてあげられるかという気概を持つてほしい。そうした思いが良い社会を作り、自身にも良い影響を及ぼす。」という祝辞が述べられた。続いて岡理事長より、「卒業式とは三年間の頑張りを称え、自身の行動を振り返り、明日から生きていく力に変えていく場である。今後は先生から言われるのではなく、自主的に全てを決定していかなければならない。」と述べられた。

続く卒業生代表の感謝の言葉では、三年六組の吉田凛華さんが三年間の思い出と教員・保護者の感謝の気持ちや、これからの抱負についてを述べていた。生徒は校長先生や理事長の話真剣な表情で聞き、生徒代表の言葉には涙ぐみ、俯いている生徒も見受けられた。

式が終わると卒業生は当日の天気のように明るい未来に向かって目を輝かせ、別れを惜しみながらも新たな希望を胸にいだいて学び舎から巣立っていった。

発行所
山村国際高等学校
坂戸市千代田1-2-23
☎ 049-281-0221

印刷所
有限会社 須賀印刷

http://www.yamamura
kokusai.ed.jp

●各賞授与

- 山村学園理事長賞 八組 三原 志月
- 学校長賞 七組 坂口 すぐ
- 後援会長賞 一組 秋葉 美穂
- 国際文化賞
- 六組 ティートリツヒ永実理
- 山村要二記念賞 四組 羽根田優也
- 山村ふみよ記念賞 六組 小倉 杏果
- 日本私立中・高等学校連合会長賞 八組 福岡 確
- 埼玉県私立中・高等学校協会長賞 七組 大久保翔太
- 埼玉県私立小学校・中学校・高等学校保護者会連合会長賞 三組 小金 大介
- 産業教育振興中央会長賞 六組 大野 愛梨
- 埼玉県産業教育振興会長賞 六組 市川 綾香
- 埼玉県体育協会会長賞 三組 小野田真也
- 八組 笹山 通菜
- 三カ年皆勤賞 二組 田中 寿仁
- 山村学園創立者賞
- 六組 ティートリツヒ裕美様「永実理」
- 六組 平野健一郎様「華澄」

「稽古」とは

学びの原点

校長 中山達朗

稽古というと、武道だけに限定されがちですが、広辞苑では、稽古の「稽」は考えること、「古」はいにしへの意味があり、つまり「稽古」とは①昔のことを考える②学んだことを練習する③武術や芸事を習うこととあります。また、千利休は、稽古とは「一から十まで学んだ後再び一に戻る」と述べています。

これらのことから「稽古」とは、通り一遍の学習や練習ではなく、「繰り返し原点に戻って学ぶ」の意味があるようです。

この稽古の考え方は、皆さんの学習や部活動を通して、日常生活を振り返るうえで大いに参考になることと思います。さらに目標を明確にし「学習」や「部活動」に取り組みことで、より高い効果や可能性の拡大が期待できます。そして、期間を決めてでも、少し高めめのハードルを自らに課すことは、自分を成長させる第一歩となるのではないのでしょうか。

蝸螂

近代文学史上、日本人に最も親しまれている作家は

夏目漱石であろう。その漱石の学問や文学に対する姿勢を最も示すのが、博士号辞退問題である。エリートとして国家権力のために尽力するよう求められた出世・栄達の象徴であった博士号を漱石は嫌っていたのだが、明治四十四年の夏、胃腸病院に入院療養中に、心身疲れ果てている状況のもとに、神経を逆なでするかのよう文学博士授与の通達を送られた。事前に本人の意思も確認せず、強引に授与を決めた文部省の一方的なやり方に激怒した漱石は、学務局長に宛てて自身の意向を伝えた。その文中には「小生は今日まで夏目ながしとして世を渡ってまいりましたし、是から先もやはり夏目ながしで暮らしたい希望を持つております」と、権力におもねらない反骨精神を宣言し、その後もあくまでも学位を押し付けようとする文部省に、博士号を拒否し続けたのである。学問や芸術に対する権威の介入を嫌った漱石は結局「ただの夏目ながし」で暮らしていくことになるのである。これも一つの「蝸螂の斧」であるといえよう。

三年生送別会

令和初となる卒業生に向けた送別会が2月22日に行われた。コロナウイルスの影響もあり、実施が心配される中ではあったが、マスクの着用・体育館の定期的な換気を行うことで、無事に行うことが出来た。よさこい部・バトントワーリング部・軽音部・ダンス部・吹奏楽部による3年生に感謝の気持ちを伝える演技は素晴らしかった。放送部は3年間の思い出の映像を流し、3年生からは笑い声や「懐かしい」などの会話がみられ、3年間の思い出を楽しんで観ていた。生徒会企画では、3年生に向けた先生方によるメッセージ・担任の先生に向けた3年生からのメッセージをそれぞれ流した。当日のサブライズ映像のため、先生方には内緒で3年生に撮影を依頼し行った。先生方からは、驚きや喜びの声が聞けた。送別会のトリの企画となった教員企画では、3年生の先生方の幼少期や学生時代の写真のスライド映像から



始まった。「誰先生の写真だろう？」など周りの生徒同士で話したりし、盛り上がった。映像の後には、先生方によるステージでの演技が行われた。各先生の学生時代における特技を、吹奏楽部の演奏に合わせて発表した。先生方による圧巻の演技は素晴らしく、生徒からも歓声が大きく上がった。様々な演出やサブライズにより生徒の歓声や笑い声に包まれながら、今年度の送別会も大きな問題もなく無事に終えることが出来た。新しい生徒会役員で、最初の行事ということもあり戸惑いがある中、皆で協力した送別会は、生徒会役員の団結力の向上とともに大きな成功をおさめた。

理科プロジェクト

第1回理科プロジェクト・高純度化学研究所の出勤授業を行いました(令和元年12月)。理系選択の生徒たちを中心に、理科への興味と関心を深めることを目的としております。

高純度化学研究所は、坂戸市千代田に本社があり、金属材料を中心に様々な材料を創っている株式会社です。講師をお招きして、化学実験室で「ビスマスの結晶作り体験」に20名の生徒が参加しました。

ビスマスBi(原子番号83、窒素族元素の1つ)は、医薬品(整腸剤・次硝酸ビスマスなど)としても使用されていますが、鮮やかな色彩を持ちながら無害な黄色の顔料(バナジン酸ビスマス)であり、塗料として利用されています。

多くの金属は1000℃以上の融点を持つが、ビスマスの融点(271.3℃)は低く、鉄(融点1535℃)に比べて容易に融かすことができます。鉛(融点327.5℃)のような毒性はないので安心して実験ができました。

生徒たちが、綺麗なビスマス結晶を作ろうと、加熱・冷却を繰り返しました。黄色や赤紫色、青色のビスマス結晶ができましたが、色がないビスマス結晶ができた生徒がいました。何故、色がないビスマス結晶だったのでしょうか?融けた状態から急冷すると全く色つきません。ビスマスに色がつくのは表面に酸化膜ができるため、冷え易い部分とそうでない部分があることで多彩な色を示します。



シャボン玉や光ディスクの発色は、「構造色(干渉色)」と呼ばれ、作ったビスマス結晶の表面は、酸化膜で光が干渉しました。加熱時間が短く、融解後にすぐに冷却すると、酸化膜が薄いために十分な構造色が得られませんでしたが(色がないビスマス結晶)。ビスマスの酸化膜は、薄い塩酸(サンポール)で落とすこともできるため、構造色を持ったビスマス結晶を作った生徒たちは試すことができます。

出勤授業の実験を通じて、理科への興味と関心を深めながら、生徒たちが主体的に取り組むことができました。

活躍している部活動



剣道部

西部支部女子団体戦第3位！実に9年ぶりの表彰であった。今年度のチームは1年生から試合に出場しているメンバーを中心に上位を目指し日々の稽古に取り組んできた。そして、接戦を制しながら臨んだ準決勝。先鋒戦を制し勢いに乗るが相手も県大会上位進出常連校。粘りの試合が続けるが徐々に引き離され敗戦。過去3位はあるものの初の決勝進出には一步届かなかった。この悔しさを糧に西部支部では決勝進出、そして女子としては初となる関東大会出場を目指し頑張っていくので応援よろしくお願ひします。

陸上競技部

「一秒懸命」をモットーに、仲間と励まし合い、切磋琢磨しながら、日々練習に励んでいます。辛く苦しい練習には逃げ出したくなることもありましたが、仲間と共に乗り越えてきました。3年生が引退し新チームになっても、個人の力を高め、チーム力を高め、県大会・関東大会・全国大会出場を目指し活動していきます。応援よろしくお願ひ致します。

放送部

放送部では、学校行事の撮影・編集、お昼の放送など地道な活動が実を結び「第22回高校生新聞社賞」をいただくことが出来ました。校外の活動では「復興支援おもてなしイベント」を通じて、地域にある店舗のCM作成や坂戸市長へのインタビューなど多くの人と出会い、繋がりを広げていきます。今後も部員同士が協力をして、作品を作り上げていきます。

よさこい部

2019年活動記録
 国体少年西部地区予選
 1500m第8位
 3000m第5位 山浦 舞(3)
 西部地区新人駅伝 第4位

総勢23名で週5日元気に活動しています。お祭に参加するよさこいの団体は大人の方達ばかりなので、踊りの技術はもちろんのこと、挨拶等の礼儀やマナーを身につけるよう心掛けています。上下関係を築きつつも、時には先輩後輩の枠をこえて話をしたり笑い合ったりと仲の良い部活動です。初心者がほとんどですが上級生が丁寧に教えてくれるため、皆楽しく活動しています。

バレーボール部

私たちバレー部は、コーチの鈴木先生の指導のもと県大会出場を目指し日々練習に励んでいます。日頃の練習では、パスやレシーブ・サーブなど基本的技術の習得や体づくりのトレーニングに時間をかけて取り組んでいます。また月に三度は他校と練習試合を行い、ゲーム感覚を養うことに努めています。最近ではチーム力も向上しつつあります。これからも頑張るので応援よろしくお願ひします！



フットサル部

フットサル部では、今年度も各種大会やリーグ戦に参加しました。主な結果は以下の通りです。一つ目は、夏の高校生フットサル大会において四名(二年・湯浅・仲村、一年・植田・池田)が大会優秀選手に選出されたことです。二つ目は、フットサル施設主催の高校生リーグに参加し、総合四位になることができたことです。三つ目は、フットサル施設連盟主催の高校生フットサルフェスティバル

生物部

生物部では、抗菌やマウスのストレス効果、また腸内フローラから食品の機能性を研究している。これらの研究成果は、「進化学会(札幌)」や「微生物生態学会(山梨)」で発表し、「敢闘賞」を受賞した。その他、慶應大や千葉大の大会にも参加した。また、私学祭では「優秀賞」を受賞した。一方、論文投稿では、「坊っちゃん賞(理科大)」で「優良入賞」を受賞した。

この様に生物部は、多くの大会に参加している。詳細は本校ホームページをご覧ください。



深谷予選に参加し、予選総合三位になったことです。来年度は、今年度以上の結果を残せるようにチーム一丸となって練習に取り組んでいきます。

1学年 進路学習

進路ガイダンス

令和元年十二月十九日

一年生対象に進路ガイダンスが開催された。事前アンケートを生徒に行い、それをもとに各自が興味のある分野ごとに分かれ、上級学校の先生から話を聞くガイダンスである。各クラスで個人面談を行い、生徒各々の意識が進路に向かい始めたところに行われていたため、生徒の話を聴く姿勢は真剣そのものであった。

ガイダンスでは取得できる資格や職業の話を中心に、生徒各々の適正についての話やAO・公募制推薦・一般といった各入試制度についての話を聴くことができた。大入試改革や大学入学共通テストの導入など、新しい入試制度に対する情報収集が必要とされるなか、各学校の対応や動きを詳しく知ることができる良い機会となった。

二月の三者面談では、生徒各々のこのような経験を活かし、コース選択、文理選択を決定していくこととなる。

今後も学年では、進路への意識付けを継続的に行い、個々の生徒にあった進路実現を目指していきたい。



2学年 進路学習

進路ガイダンス・三者面談

十二月十九日(木)

二年生は特別時間割の進路ガイダンスとして、ウエスタ川越にて中央大学をはじめとする大学・短大・専門学校など約百校を招いて進路相談会を行いました。生徒はそれぞれの志望する学校のブースで真剣にメモを取りながら説明を聞いていました。

終了後、生徒は自身の進路をより具体的に考えるきっかけになったと話していました。また保護者の方にも多数参加していただき、親子で進路について相談している様子も見受けられました。

また、二月一日(土)から六日(木)の五日間で学校と家庭の情報交換の場として三者面談が行われました。保護者



の皆様には、お忙しいところをご協力いただきありがとうございます。面談では生徒の学校での様子や家庭での学習の取り組みについての内容はもちろん、来年度の受験についても詳しい話があったかと思えます。自身の進路について自分の考えをしっかりと持っている生徒も多く、より具体的に話し合うことができたのではないのでしょうか。生徒にとっては受験に向けて動き出すための良い機会となったと感じています。今後も学校での進路学習や進路相談会など進路について考える機会を設け、生徒が自信を持って受験に向かっていけるように学校として指導していきます。

進 路 報 告

～進路指導部より～

帝京科学大学	帝京大学	津田塾大学	中央大学	千葉工業大学	拓殖大学	大東文化大学	大正大学	仙台大学	専修大学	西武文理大学	駿河台大学	杉野服飾大学	女子栄養大学	昭和女子大学	尚美学園大学	城西国際大学	城西国際大学	淑徳大学	十文字学園女子大学	産業能率大学	埼玉工業大学	埼玉学園大学	埼玉医科大学	駒沢女子大学	駒澤大学	国士館大学	國學院大學	工学院大学	杏林大学	共栄大学	共立女子大学	関西大学	跡見学園女子大学	亜細亜大学	青山学院大学	私立大学
1	3	1	4	1	2	18	4	1	3	3	8	4	6	1	6	10	1	3	2	1	7	1	2	2	5	5	1	1	1	1	2	4	7	1		
立正大学	立教大学	ものづくり大学	目白大学	明星大学	明治大学	文京学院大学	武蔵野大学	武蔵野音楽大学	武蔵大学	法政大学	防衛大学校	平成国際大学	文化学園大学	日本大学	日本女子大学	日本女子体育大学	日本医療科学大学	奈良大学	獨協大学	東洋大学	東洋学園大学	東北学院大学	東邦大学	東都大学	東京都大学	東京電機大学	東京女子体育大学	東京国際大学	東京工科大学	東京経済大学	東京家政大学	東海大学	デジタルハリウッド大学	帝京平成大学		
2	2	2	3	2	4	11	1	2	3	4	1	2	2	12	1	1	5	1	1	12	1	1	1	1	1	9	2	8	2	2	1	5	2	1		

二〇一九年度生の進路状況

【大学】

大学入試センター試験

二〇二〇年度（令和二年度）の大学入試センター試験の志願者数は、前年より一九一三人減り、全国で五五七六九九人（うち受験者数五二七〇七二人）であった。国公立大学の志願者総数は四三九五六五人で、募集人員一〇〇一四六に対する志願倍率は四・四倍（前年度は四・七倍）であった。倍率減少の背景には、センター試験の平均点が英数国といった主要教科で下がったことがあると考えられる。以下でも言及するように、受験生の安全志向が強くなり、国公立を諦める生徒も少なくなかったようである。なお、本校からは昨年より五名多い七三名がセンター試験を受験した。

私立大学でも、定員厳格化による難化や来年度からの高大接続改革（大学入学共通テストの導入）の影響を受けて、強い安全志向がはたらか、難関校を中心に志願者数の減少が目立った。センター試験利用入試を例にとると、MARCHE（明治・青山学院・立教・中央・法政）が前年比八三％、日東駒専（日本・東洋・駒澤・専修）では前年比七四％にまで志願者が減少した。系統別志願状況としては、理工系が二％増・農学系が五％増など人気が高まる一方、ここ数年高い人気を誇った経済・経営系が漸く減少するなど、これまでの「文高理低」に少し歯止めがかかったかに見える。一方で、全体としては志願者数を

減らした難関大でも、入試方式によっては増加傾向が見られる点に注意したい。高大接続改革では頓挫したかに見える英語外部検定を利用した入試である。この方式では早稲田大で二三％増、法政大で二一％増、中央大で一％増など、軒並み志願者が増加した。本校でも英語検定への挑戦者は増加傾向にあるが、資格保有は近い将来、大学入試におけるミニマム・スタンダードになると予想される。（以下は令和二年三月二日時点の入試結果です）

【短期大学】

短大への進学を決めた本校生徒は、昨年度より減少し八・九％（昨年度一二・八％）であった。系列校の山村学園短期大学子ども学科に十名が進学予定である。それ以外では、看護系（埼玉医科短期大学に三名合格）・その他医療系（歯科衛生）・栄養系・ビジネス系・服飾系といった多様な進学先が並んだ。今年度はAO入試や公募制推薦に向けてしっかりと準備・対策を行い、見事合格を勝ち取った生徒が多い印象である。

【専修学校】

専修学校を希望する生徒は、昨年より増加し三〇・七％（昨年度二四・九％）であった。学ぶ学科・コースは、医療系（看護・理学療法・作業療法・柔道整復・歯科衛生）・調理製菓系・動物系・ビジネス系など多岐にわたるが、中でも人気が高かったのは看護を含む医療系で一七名、また理美容系には一六名の進学が決定している。

【就職】

文部科学省発表の「令和二年三月高等学校卒業予定者の就職内定状況」によると、埼玉県は平成三〇年十月末までの就職内定者は五七三四名で、内定率は七五・一％（前年度比〇・五％減）であった。男女別では、男子の内定者が三二一九名で内定率は七四・〇％、女子の内定者が二五一五名で内定率は七六・六％と、どちらも高い就職内定率となった。しかしながら、公務員に関しては国家・地方共に依然人気が高く、初級とはいえ厳しい状況である。公務員試験の内容は、教養試験・適性試験・作文・面接などだが、教養試験では、政治・数学・国語など幅広い科目に関する一般知識と文章理解力、数的推理力などの一般知能が問われるため、早期に対策をとる必要がある。

本校では、陸上自衛隊に一名合格、また三名が一般企業に内定している。



保健室だより

昨年12月以降問題となつている新型コロナウイルス感染症が広まっています。

これを受けて本校でも様々な感染防止策を実施してきました。自分が感染しないためにも、感染拡大防止のためにも「自分の健康は自分で守る」当たり前のことですがこれがとても大切です。手洗い・アルコール消毒をこまめに行う、咳エチケットを行う、生活習慣を整えて免疫力を高める（十分な睡眠・高校生は8時間睡眠、朝・昼・夕のバランスの良い食事・主食・主菜・副菜・乳製品・果物のそろった食事、適度な運動・毎日15分のウォーキング等の運動）、休日の不要不急な外出や人混みを避ける等感染防止のためにできることはたくさんあります。これは今回だけでなく、日々の感染症対策でみなさんが行っていることだと思います。一人ひとりが少し意識するだけで感染は防ぐことができます。ピンチはチャンス。「自分の健康は自分で守る」今、このことを意識するチャンスです。



事務室だより

皆様には、授業料の納入、就学支援金及び埼玉県の父母負担軽減申請等におきましては、大変お世話になりました。皆様のご協力により手続きが全て完了し、現在届け出のある授業料振替口座への振込処理をいたしましたので、確認をお願いいたします。

なお、新2年生・新3年生の方々については、令和2年度になりましたら引き続き「就学支援金・父母負担軽減」についての書類を提出していただくこととなります。例年通りですと、第1回目の申請は6〜7月に生徒を通してお知らせいたします。お手元に資料が届かない場合は、事務室までご連絡ください。

日頃、事務室事業に対しまして多大なご理解とご協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。事業や施設関係でご不便をおかけしている所もあるとは思いますが、全ての生徒が安心・安全に勉強や部活動に打ち込める環境作りを順次整えていきたいと思っておりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

